



利用者様お一人おひとりの水分摂取量をグラフ化し見える化した例も



洗浄綿を用いて陰部洗浄を行うなど、各事業所が工夫しながら細やかにケア

**細やかなケアの徹底に向か
多職種連携を強化**

Q 介護士さんの協力は得られていますか？

森武 否定的な意見はほとんどありません。もちろん、個々で技術レベルが異なるので、研修などを実施してスキルを引き上げることは大切です。なぜ必要なのか、理由を含めて看護部から指導を行つ

後、洗い流す方式を採用しています。利用者様にも優しいし、携行する物品が少なくて済むので介護士さんにも好評ですよ。

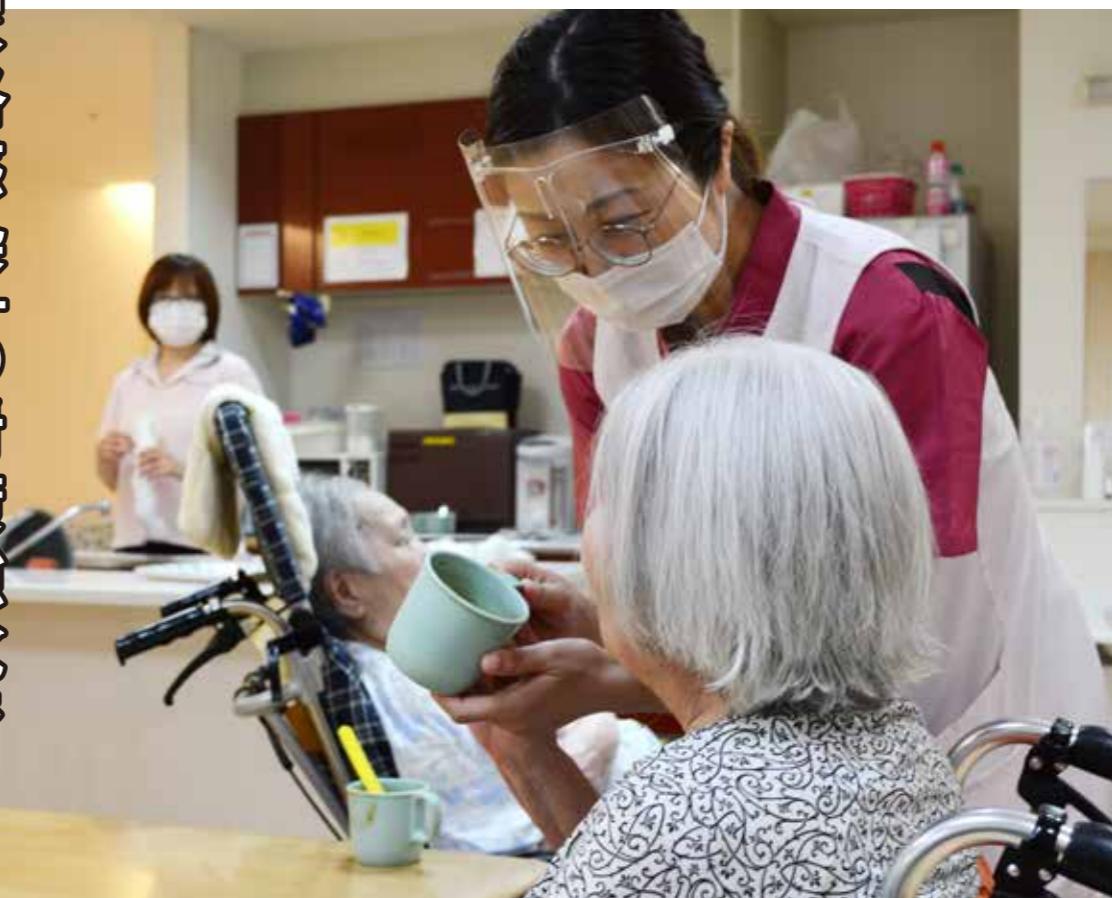
曾根 注意が必要なのが、バルーンカテーテルを入れている方。介護士さんに周知させながら、チューブのねじれがないか、バックの位置は正しいか、私たちでもこまめにチェックを行うように心がけています。

Q 介護士さんの協力は得られていますか？

渡部 施設も、バイタル異常や発熱があればすぐに医師に報告し、指示を仰ぐようになります。特に宝塚清光苑はすぐ隣にクリニックがあるので、対応がスピーディーですね。

森武 恵まれた環境だと思います。積極的に情報収集をして早期にクリニックにつなげ、必要であれば診察や抗生素質の投与をしていただきたいままに功を奏したのか、尿路感染の件数は格段に減ったな

「尿路感染」の対策強化で 利用者様のQOL向上を！



完治が難しい尿路感染
それでもできることはある

Q 尿路感染予防を強化した背景は？

渡部 利用者様が入院に至る原因の一つが尿路感染です。尿路感染は繰り返しやすく、特に高齢の方は完治が難しい病気。それでも、利用者様のQOLを高めるために看護師としてできる対策があるのでないかと看護部の会議で話し合いました。

Q どのように取り組んでいますか？

作吉 まずは水分摂取です。利用者様お話を聞いて、介護士さんと一緒に水分を増やせばいいんですね？」などと確認してくれたり。連携がスムーズになっていると実感します。

Q 医療機関との連携はどのように？

渡部 どの施設も、バイタル異常や発熱があればすぐに医師に報告し、指示を仰ぐようになります。特に宝塚清光苑はすぐ隣にクリニックがあるので、対応がスピーディーですね。

森武 利用者様おひとりの水分摂取量をグラフ化し見える化した例も

Q 介護士さんの協力は得られていますか？

森武 否定的な意見はほとんどありません。もちろん、個々で技術レベルが異なるので、研修などを実施してスキルを引き上げることは大切です。なぜ必要なのか、理由を含めて看護部から指導を行つ



介護職員から上がった意見は医務室に持ち帰り、看護師内で話し合う

段階を踏みスキ

ルアップできる
ようにサポート
しています。最
終的には自立し
た介護士さんに
なってもらつ
て、共に利用者
様の健康を守つ
ていきたいです
ね。

久保 刀根山美豊苑では、ボディソープを湿らせたコットンを泡立てて洗浄した

渡部 もう一つ大切なのが陰部洗浄。こちらも各施設で工夫して回数を増やしてもらっています。また高齢の方は一度にたくさんは摂取できないので、こまめに少しづつ摂るように介護士さんにもお願いしています。

ウエル清光会では、約50名の看護師が各事業所に在籍し、利用者様の健康管理を行っています。2年半前からは特に尿路感染予防を強化。施設で安心して過ごしたいため、介護士と連携して取り組みを進めています。



ウエルの「今」を
深堀り!

ウエル清光会
看護教育責任者/渡部昌子(上左)
清豊苑
看護師/曾根昌子(上中)
刀根山美豊苑
看護師/久保初美(上右)
利倉清豊苑
看護師/作吉尚子(下左)
宝塚清光苑
看護師/森武結子(下右)